



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：国民議会での自爆テロ

(4月12日付現地報道取り纏め)

1. 4月12日午後3時頃、警備が厳重なインターナショナル・ゾーン内の国民議会において国会審議終了直後に、爆発ベルトを身につけスーツケースを持った人物が同議会内のカフェテリアにて自爆テロを行った。このテロにより国会議員2名と国会職員4名の合計6名が死亡、国会議員、警備要員、報道関係者を含む30名が負傷した。
2. 死亡した国会議員のうち1名はスンニ派政党の国民対話戦線のムハンマド・アワード議員、1名はクルド同盟の議員とされている。負傷者の中にはスンニ派議員5名、統一イラク連合（シーア派）議員2名が含まれているとの情報がある。
3. マーリキー首相は声明を発出し、今回のテロを強く非難した。
 - (1) 国民の代表を標的とした今回のテロは、イラク国民と民主主義に対する攻撃である。
 - (2) テロをもってイラク国民の意思をくじくことは出来ない。
 - (3) 治安機関は犯人逮捕に全力を尽くす。
 - (4) 犠牲者の家族へのお悔やみと負傷者の回復を願う。
4. 事件後、サーレハ副首相をヘッドにし、国防相、内相、イラク軍「法の執行計画」司令官、多国籍軍司令官からなる調査委員会が発足した。